



多文化共生のために

お互いの文化の理解から繋がる交流



講師

加藤 千洋 さん

ジャーナリスト
平安女学院大学客員教授
アジア・アフリカ文化財団理事

近年、私たちの地域でも中国出身をはじめとする外国籍の方が多く暮らし、地域社会の重要な一員となっています。言葉や生活習慣の違いを超えてお互いを理解し、尊重し合う「多文化共生社会」の実現は、活力ある地域づくりに不可欠です。そこでこの度、長年にわたり中国報道等の第一線で活躍されている加藤千洋先生をお招きして、中国の政治状況や外交に加えて、文化・習慣・教育・くらし等、日中相互の理解を深め、地域住民同士がより良い関係を築くための講演会を開催いたします。

2026年

2月 21日 土曜日

午後 2 時～ 4 時

三鷹産業プラザ7階 (JR三鷹駅南口徒歩7分)

第90回 国際理解講座

世界の中の中国と日本

現代中国理解

〈知っておきたい、隣人・中国の今と未来〉

会場地図



申込フォーム



詳細は裏面をご確認ください

世界の中の中国と日本—現代中国理解

— 知っておきたい、隣人・中国の今と未来 —



ち ひ ろ

講師

加藤 千洋

ジャーナリスト
平安女学院大学客員教授
アジア・アフリカ文化財団理事

(略歴)

1972年東京外国語大学卒、同年朝日新聞社入社。広島支局、神戸支局、大阪本社社会部、東京本社外報部、アエラ編集部記者、論説委員、社長秘書役などを経て、1984年～2000年の間に北京、バンコク、ワシントンなどに駐在。2000年帰国後は外報部長を経て2002年から編集委員(国際担当)。この間2004年4月～2008年10月まで4年半、「報道ステーション」(テレビ朝日系)で初代コメンテーター。2009年～2013年、「にほん風景遺産」(BS朝日)でナビゲーター。2010年3月朝日新聞退社、2010年4月～2018年3月まで同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授。2018年4月～現在、平安女学院大学客員教授。
1980年～1981年、中国・遼寧大学に研修留学。1994年～1995年、米ジョージタウン大学SAIS客員研究員をつとめる。日中文化交流協会常任委員・評議員 アジア・アフリカ文化財団理事、日本記者クラブ会員

(受賞歴)

・一連の中国報道で1999年度ボーン上田記念国際記者賞を受賞。
・朝日新聞長期連載「テロリストの軌跡 モハメド・アタを追う」の企画で2002年度日本新聞協会賞(企画部門)を受賞。

(主な著訳書)

著書

『中国大陸をゆく』(共著、岩波新書)
『北京&東京 報道をコラムで』(朝日新聞社)
『胡同の記憶 北京夢華録』(平凡社、のちに岩波現代文庫)
『中国食紀行』(小学館)
『辣の道 トウガラシ2500キロの旅』(平凡社)
『沙飛 中国のキャバ』と呼ばれた戦場写真の先駆者』(平凡社)

訳書

『鄧小平 政治的伝記』(朝日新聞社、のちに岩波現代文庫)
『勁雨煦風 唐家璇外交回顧録』(監訳、岩波書店)
『私は中国指導者の通訳だった 中日外交最後の証言』(岩波書店)

日時

2月21日 土曜日
午後2時～午後4時

会場

三鷹産業プラザ7階 701-702号室
(三鷹市下連雀3-38-4)

費用 | 無料
定員 | 先着60人

申込先

- 申込方法 | 三鷹国際交流協会ホームページ
申込フォーム・窓口・電話にて
- 申込フォームURL
<https://forms.gle/7XgJqXW3JcsS4WoHA>
- 三鷹国際交流協会ホームページURL
<https://www.mishop.jp/>

(公財)三鷹国際交流協会 MISHOP
三鷹市下連雀3-30-12
三鷹市中央通りタウンプラザ4階
TEL | 0422-43-7812

三鷹国際交流協会

